

# 祝 20周年

## 「ふるさと普代会」盛大に

### 民謡や鶴鳥神楽、抽選会に歓声

東京音頭を皆で踊りました。尺八は砂合満男さん、三味線は手前が奥さんのさい子さん、奥が富川佑子さん



「光すがしき 朝風に…」思い出深い普代中学校校歌を皆で熱唱  
「チヨキの勝ちですよー」。20周年企画ディズニーランドのペア券をかけたじゃんけん大会也大盛り上がり

首都圏で暮らす村出身者で組織する「ふるさと普代会」(中野健治会長、会員184人)が20周年を迎えました。10月26日には、東京千代田区の九段会館で約90人が出席して総会と集いが盛大に行われました。懐かしい普代弁などが飛び交う中、鶴鳥神楽の鑑賞や民謡などが行われ、出席者は20周年を祝い合い、心ゆくまで語り合っていました。

#### 二十山親方が講演

午前11時30分から始まった総会と集いには、村から、榎屋伸夫副村長、中村裕議長、熊谷泰彦商工会長、鶴鳥神楽保存会員、関係者ら10人が出席しました。

総会では中野会長が「平成元年に、熊谷文弥初代会長をはじめ、当時古里に熱い思いを持つ方々が世話役となって発足してから、回を重ね記念すべき20周年を迎えました。今日は年に1度の古里の仲間が集いです。大いに飲み、語り、楽しんでいただきたいと思えます」とあいさつ。続いて、榎屋副村長が、村の近況報告などを述べました。記念講演では、旧山形村(現久慈市山形町)出身の二十山仁親方(元小結・栃乃花関)が、「私の歩んだ道」と題して、たくさんの皆さんに支えられながら歩んだ現役力士時代を振り返りながら、今後は親方業に精進したいと語りました。

#### 舞踊や民謡なども

議事では、平成19年度の事業報告、監査報告、平成20年度の事業計画案などが出され、満場一致で承認されました。第2部の懇親会では、野崎和幸幹事が司会を務め、来賓紹介が行われた後、熊谷文弥名誉会長の音頭で声高らかに乾杯しました。アトラクションでは、皆さんお待ちかねの鶴鳥神楽が登場。「清払い」「恵比寿舞」の2演目を熱演し、会員らも手平鉦で飛び入り参加していました。続いて会員らのプロ並みの舞踊や尺八、三味線の演奏も披露され、皆さん輪になって

#### 応援寄付に4万円

今回の総会でふるさと応援寄付を呼び掛けたところ、「少しでもお役に立てれば」と、早速会員の皆さんから4万円の寄付がありました。村の発展のために大切に使用させていただきます。

議事では、平成19年度の事業報告、監査報告、平成20年度の事業計画案などが出され、満場一致で承認されました。第2部の懇親会では、野崎和幸幹事が司会を務め、来賓紹介が行われた後、熊谷文弥名誉会長の音頭で声高らかに乾杯しました。アトラクションでは、皆さんお待ちかねの鶴鳥神楽が登場。場。「清払い」「恵比寿舞」の2演目を熱演し、会員らも手平鉦で飛び入り参加していました。続いて会員らのプロ並みの舞踊や尺八、三味線の演奏も披露され、皆さん輪になって



鳥茂渡小学区の皆さん。閉校してしまいましたが、思い出はいつも胸の中にあります



堀内小学区の皆さん。潮風にのびのびする懐かしい校舎が思い出されます



「古里をみんなで応援するぞ!」「フレ、フレ、ふだいー!ソレー!」。頼もしい古里の応援団長



「乾杯!」。音頭は初代会長の熊谷文弥さん



「普代小学校の卒業生は集まってー」。学区ごとに記念撮影が行われました



子どものころに見た懐かしい鶴鳥神楽。神楽のリズムが体に染みこんでいるのでしょうか。「やっぱり、古里の神楽は最高」と皆さんは話します(演目は恵比寿舞)



「相撲をやめようとあきらめたことは何度もありました。でもみんなが支えてくれ、これまでこれでした」と、記念講演で胸の内を語った二十山親方



私たちは黒崎小学校の卒業生です。来年も来ます



ふるさと普代会 中野健治会長

会員の心のよりどころであり、古里に貢献できる、普代会であり続けたい

諸先輩や会員の皆さんのおかげで20周年を迎えることができました。ほかのふるさと会に劣らぬ水準までに成長したと感じています。皆さんに楽しく飲んで、語っていただこうと、20周年の特別記念企画も役員皆で考えました。帰り際に「盛り上がりよかったですね」「楽しい会でしたよ」と感想をいただき、うれしく思いました。今後も会員の心のよりどころになれる、古里・普代村の活性化に貢献できる、そのような「ふるさと普代会」にしていきたいと思っております。引き続き皆さんのご協力をお願いいたします。

